



夏休みを安全に 過ごすための PTA活動

鹿児島市立河頭中学校

つの柱を立てました。

- ① 安全に関すること
- ② 問題行動の未然防止に関すること
- ③ ネットトラブル防止に関すること

① 安全に関すること

年度初めに、校区環境点検マップをもとに、本校職員で危険箇所点検を行います。交通安全は言うまでもなく、生徒の登下校中の安全を確保するために、例えば梅雨時期に土砂崩れや甲突川の増水等が想定される危険箇所に行き、現場の確認をします。また、地理的に山間部が多く、外灯が少ないために痴漢等への注意も必要であると思われ、啓発活動として、校区内の危険箇所等をPTA保健生活部便りや河頭中安心メール等で周知し、生徒の安全確保に努めています。

② 問題行動の未然防止に関すること

さらに、講師を招いて、AEDの取扱いや応急手当の仕方等、水難事故防止や熱中症対策の研修も行っています。

③ ネットトラブル防止に関すること

モバイル端末（携帯電話・スマホ・タブレット・ゲーム機等）の所持・利用状況調査を実施し、実態把握をします。その実態をもとに、学級PTA等で保護者に啓発しながら、モバイル端末にまつわる問題や危険性につ

今年度は本校の「父親セミナー」とも連携し、校区内の夜間パトロール等も計画しています。

また、河頭中地区青少年健全育成連絡協議会を開催し、情報交換や共通実践事項の確認を行って

て十分理解してもらうようにしています。最近、生徒が自分専用の携帯電話・スマホを所持していない場合でも、保護者の携帯電話・スマホやタブレット等を自由に使用できる家庭が増え、ネットが利用できる環境にあります。例えば、モバイル端末を21時以降は使用しない、または保護者預かりとする等、夏休みを前に、再度、親子で話し合いをしながら家庭ルールを決めてもらい、ネットトラブルの未然防止に努めています。

おわりに
本校は自然に恵まれた

小規模校の特性を生かし、特色ある教育活動が落ち着いた環境の中で行われています。その中でも、少人数指導による個性に応じた学習指導、本校の誇りでもあるエイサー活動等の特色ある教育活動、ボランティア活動や体験活動等の充実を展開しています。これも地域の教育力が生徒たちに好ましい影響を与えているからこそであります。今後も学校、保護者、地域が協力し、生徒の健全育成に努めていきたいと思

(生徒指導主任)
内野 博光

本校は鹿児島市の北西部の郊外に位置し、自然豊かな山間部にあります。校舎の横には甲突川が貫流し、その流れに沿って国道3号線が南北に走っています。本校には校区内に五つの小学校があり、特認校制度による校区外からの生徒も通学しています。生徒は純朴で礼儀正しく、地域を持つ伝統や文化、教育力が根付いており、文化伝承活動の一環として、全校生徒でエイサーに取り組んでいます。

本校の取組

PTAの保健生活部を中心に、学期始め、朝のあいさつ運動を実施しています。本校教職員とPTA保健生活部員で正門

に立ち、気持ちのよい挨拶を交わすことで、生徒たちとのコミュニケーションを図れ、登校の様子を知ることができ、す。しかしながら、校区内が広いため、保護者の車での送迎も見られ、公共のバスを利用する生徒の交通マナー等の課題もあります。

また、夏になると校区内で、六月灯や夏祭り等が企画されることも多く、生徒の問題行動も懸念されます。さらに近年では、生徒の携帯電話・スマホの所持率も上がり、予期せぬトラブルに発展している例も少なくありません。

そこで、生徒が夏休みを安全に過ごすための本校の取組として、次の三

本校職員とPTAの保健生活部で街頭補導や夏祭り等での補導を計画的に行っています。補導コースは校区内の状況や環境点検等も含めて設定し、複数で巡回するようにしています。



伝統のエイサーを体育祭で披露